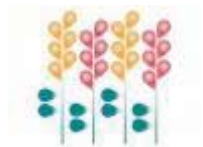



# ひまわり通信



2014 年度 4 月 第 1 号

あたたかい日も多く、だいぶ過ごしやすくなってきましたね。 春の虫たちもうごきだしてきてい

ることでしょね。私たちも自然にたくさん触れることを楽しみたいものですね。

子育てにわらべうた

「たかい たかい たかい」

大好きな人にしっかり抱いて支えてもらえることほど、子どもにとって嬉しいことはありません。子どものときに「たかい たかい」をしてもらった体験は、大人になっても、やってもらった人との絆を結びます。



小さい頃は、お母さんが抱いてちょっと高くもちあげます。

もう少し大きくなったら、お父さんが立ってもっと高くもちあげて「たかい たかい たかい」をしてあげてください。この遊びは 10 歳くらいまで続けてやってください。



また、親類のおじさんやおばさんもやってくれたそうです。

久しぶりに会った大人が「どれ、大きくなったかな？」と持ち上げて「あ～重くなった。大きくなったね」と認めてくれる。そのことで、大人と子どもの人間関係が作られていくのです。

子どもは成長し、大人は年老いていくけれど、「あ～あのおじさんに《たかい たかい たかい》をしてもらった」といつまでも忘れない。そのときだけの遊びではなくて、つながっていくあそび、人間関係をつなげていくものなのですね。

